



▲合唱団も花を添えた華やかな歓迎レセプション



▲「東方紅」を歌って歓迎した熊本青少年合唱団一人一人と握手をかわす



▲拍手しながらタラップを降りる劉希文団長



▲中国经济貿易友好訪日代表團一行紹介



▲レセプションを前に沢田知事と土産品の交換

深まる日中友好と熊本県

— 中国経済貿易友好訪日代表團 —

中国经济貿易友好訪日代表團（劉希文団長）の一行28人がこのあと宿舎のホテルで開かれた熊本県日中経済貿易懇談会に出席。要旨次のような内容について懇談しました。午後7時過ぎから歓迎レセプションが開かれ、熊本青少年合唱団を楽しみ、初めてみる阿蘇火口の壮大さに見とれた後、大分県へ向いました。

（懇談要旨）

熊本側は、熊本—上海を結ぶ航空路、航路の開通、青年の交流、新貿易商社の設立、広州交易会参加要請、など人の貿易の基本は互惠平等、需要と可能性に従って発展させた遣があるが、交易会はホテル不足なので、機会を利用して北件もいいと思う。普通の時期に大勢みえることを歓迎すると

9月26日午後2時25分、小倉から空路来熊しました。代表團会（県歓迎実行委員会主催地元各団体代表など出席者約百人）時過ぎから歓迎レセプションが開かれ、熊本青少年合唱団を楽しみ、初めてみる阿蘇火口の壮大さに見とれた後、大分

船、産業、経済、貿易代表團の派遣、海底ケーブル、学術文と物の交流を促進したいと要望。これに対し中国側は、中国い。方法としては、手紙、電話、交易会への参加、代表團派京や上海、天津、青島などを直接訪れて商談する方法が、条結



▲「熊本との貿易を大いにやりましょう」と劉団長(左)

▼阿蘇火口の壮大さに感嘆する一行



▼阿蘇への車中で写真集「熊本の風土」に見入る団員



▼日本側随行者・岡崎嘉平太氏



▼熊本県日中経済貿易懇談会会場

